

子ども・子育て新システム検討会議作業グループ 幼保一体化ワーキングチーム(第3回)	資料1
平成22年11月16日	

幼保一体化の目的について(案)

平成22年11月16日

第3回 幼保一体化ワーキングチーム資料

幼保一体化の目的(案)

これまでの幼保一体化の取組については、

仕事と子育ての両立のための支援が進み、就学前の子ども(5歳児)の約6割が幼稚園から小学校に入学する一方、保育所からも約4割の子どもが小学校に入学する中で、幼稚園・保育所を問わず、希望する全ての子どもに対し、生涯にわたる人格形成の基礎である質の高い幼児教育・保育を保障するという主として幼児教育の振興の視点、

仕事と子育てを両面で支援するなど、社会全体で次代を担う子どもの育ちを支えるという主として次世代育成支援の視点、

家庭や地域の教育力・子育て力の低下、保護者の多様なニーズ等を踏まえ、家庭や地域の実情、保護者の多様なニーズ等に応じ、専業主婦を含め希望する全ての子ども及び子育て家庭を支援するという幼児教育の振興・次世代育成支援共通の視点、

という3つの視点がある。

今回の幼保一体化の目的については、次のように考えることができるのではないか。

世界に誇る質の高い幼児教育・保育を希望する全ての子に

支援を必要とする全ての親子が全ての地域であらゆる施設において~~の~~支援を受けられるように

男女がともにあらゆる場面で活躍できる社会を目指し、女性の就業率の向上や多様なニーズに対応する保育の量的拡大を図るために